

# TMT 科学諮問委員会報告 (J-SAC) (秋山)

- 2020/09-2022/08期。
  - 大朝 由美子 (埼玉大)、川端 弘治 (広島大)、住 貴宏 (大阪大)、田中 雅臣 (東北大)、田村 陽一 (名古屋大)、富永 望 (甲南大)、成田 憲保 (東京大)、藤井 通子 (東京大)、長尾 透 (愛媛大)、吉田 二美 (産業医科大)、小山 佑世 (国立天文台)、秋山 正幸 (東北大)
  - (TMT-SAC メンバーは下線のメンバーに加え、臼田 知史 (国立天文台)、本田 充彦 (岡山理科大))
- 秋季年会の総会での報告以降 3 回(10/7, 11/10, 12/16)の開催。詳しくは議事録を参照、<https://tmt.nao.ac.jp/researchers/subcom/minutes.html> より公開しています。
- また議事のサマリもTMTニュースレターで回覧されています。そちらも参照してください。

# TMT 科学諮問委員会報告 (J-SAC) (秋山)

- Astro2020 の公表と結果についての議論
  - 学術会議マスタープランに向けた光赤天連からの強い推薦に引き続き、Astro2020でもUS-ELTPについて強い推薦が示されると共に、実現に向けたマイルストーンが設定された。
  - 公表を受け、2021/12/15 に TMT-J プロジェクト室を中心にコミュニティ向け説明会を行って頂いた。PMのFengchuan Liu 氏にも現地の状況を説明して頂いた。
- より幅広いコミュニティにアプローチすることについての議論
  - 周辺分野での個別の研究会での TMT 講演も引き続き進めている (吉田二美さん@日本惑星科学会、本田充彦さん@惑星圏シンポジウムその他、各コミュニティでのシンポジウム：太陽研連など)
  - 東北大学では田中雅臣さんと石徹白さんを中心に天文学分野と素粒子宇宙分野との定期的な「宇宙系談話会」を始めた。
  - 他にも「TMT × ???」の機会があればよろしくお願いします。

# TMT 科学諮問委員会報告 (J-SAC) つづき

- 日本のコミュニティとしてキーサイエンス実現に向けた技術実現の指針となるロードマップの作成を行っている。
  - すばる/TMTサイエンスブックで取り上げられたキーとなる科学課題を実現するために必要となる要求仕様をピックアップする。
  - キーサイエンスの設定は、系外惑星：成田さん、初代銀河：小山さん、宇宙論：田中雅臣さん、を中心に取りまとめを行っていただいた。
  - キーサイエンス実現に向けた必要技術とその開発に向けた展望については、極限補償光学・コロナグラフ：村上さん、中間赤外線：上塚さん、面分光装置：尾崎さん、補償光学：美濃和さん、高分散分光：川端さん、に取りまとめを進めてもらっている。

# TMT 科学諮問委員会報告 (J-SAC) つづき

- 日本のコミュニティとしてTMT(-J)とすばるの一体運用を含めた科学運用のプランについて具体的に要望を取りまとめ、青写真を策定を進めている。
  - 6/23 にコミュニティ向けに行った科学運用の取りまとめのWSや科学諮問委員会での議論を元に、サブワーキンググループを中心として原案となる要望まとめを作成した。すばる科学諮問委員会でも紹介された。
  - 2022/03 の TIO-SAC およびそのサブワーキンググループの Science Operation Working Group にその原案を説明する。TIO-SAC での議論を通して、US-ELTP での科学運用の検討に反映し、NSF による US-ELTP のレビューを受けることとなる。
- 次回は 3/18 に開催予定。装置開発ロードマップの取りまとめに向けた議論が中心となる予定。